

産経新聞社  
代表取締役社長(当時)

飯塚 浩彦



「赤ひげ大賞」、「赤ひげ功労賞」受賞者の皆様、ならびにご家族の皆様、この度のご受賞、誠に  
おめでとうございます。

地域住民の「かかりつけ医」として、日々奮闘されている皆様に、心から敬意を示すとともに、深く  
感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たちの価値観や生活スタイルを一変させました。変化が求  
められる日常の中で、いかに健康に毎日を充実させて生きるかは社会的な課題です。

産経新聞社は報道機関として、紙面での提言やイベント等を通じ、日本の医療の充実、更には国民  
の長寿と健康的な生活の一助となるべく、これまで以上に邁進<sup>まいしん</sup>していく所存です。

ただ、国民一人一人の健康を支えるのは、地域に深く根差した医療であり、その医療活動に携わる  
医師の皆様、医療関係者の皆様であります。今後とも皆様のご尽力を心よりお願いしたいと思ひます。

結びになりますが、「赤ひげ大賞」の開催にあたり、ご協力をいただきました厚生労働省、フジテレ  
ビジョン、BSフジ、ご尽力いただきました選考委員を始めとする関係各位の皆様、特別協賛をいた  
だいております太陽生命保険株式会社様にお礼申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。